

市民や来訪者がにぎわう空間づくり

長崎駅周辺エリアのデザイン指針を作りました！

平成34年予定の新幹線開業に伴い、大きくまちなみが変化する長崎駅周辺エリア。「新しい長崎の玄関口」にふさわしいまちなみをつくるために、駅や駅前広場、道路や建物などのデザインの指針をまとめました。

◆デザイン指針の目的

長崎の陸の玄関口である長崎駅周辺エリアでは、これから、新幹線開業、JR長崎本線の高架化、駅舎の建て替えに加え、土地区画整理事業や駅前広場・道路の整備など、さまざまな事業が予定されており、まちの姿が大きく変わろうとしています。

長崎にさらなるにぎわいをもたらすためには、この機会を生かして、長崎駅周辺エリアで**長崎だからこそ体験できる空間**を目指し、まちなみを整えていくことが重要になってきます。今回、こうした空間をつくるために市民、事業者、行政が共有すべき方針や取り組みなどを、デザイン指針としてまとめました。

◆基本方針

長崎駅周辺エリアを市民や来訪者にとっての交流・にぎわい空間とするため、4つの基本方針を定めて、まちづくりを進めていきます。

- 基本方針1 世界でも類をみない港に面した終着駅の特性を生かした長崎駅周辺のシンボルづくり
- 基本方針2 「乗り換えの利便性」と「空間の快適性」を重視した新たな陸の玄関口づくり
- 基本方針3 長崎を代表する港・山・川などと調和した一体的な空間づくり
- 基本方針4 歴史文化・風土に出逢う市民および来訪者の交流空間づくり

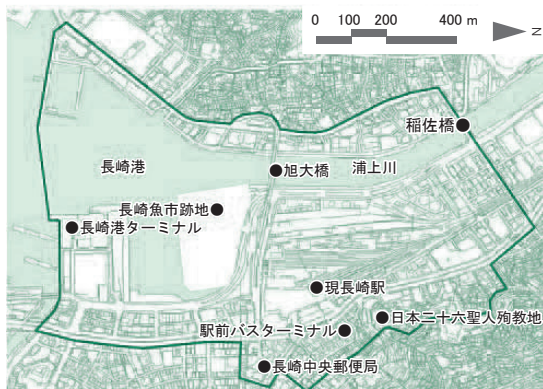
この基本方針に沿って、**駅からバスや路面電車への乗り換えをスムーズにしたり、建物などを建てる際に、長崎港、稲佐山、浦上川などへの眺望に配慮したり、道路の舗装や建物の低層部にレンガなどの長崎らしい天然素材を積極的に取り入れたり**するなどの取り組みを進めていきます。

その他、デザインを進める上で配慮すべきことなど、デザイン指針の内容については、お尋ねいただくか、市ホームページをご覧ください。

◆対象範囲

デザイン指針の対象エリアは右図のとおりです。

対象エリア内で建築物や工作物の新築や新設、増改築、外観の変更などを行う場合には、規模などに応じて、行政や専門家を交えて、デザインに関する協議を行っていただく必要がありますので、ご協力をお願いします。



◆目指すデザインのイメージ

デザイン指針を活用しながら、今後、皆さんとともに長崎らしい魅力ある空間づくりを行います。



<新しくできる新幹線のホームから見た駅東側のイメージ>

これまでより広い駅前交通広場を整備してバス停などを分かりやすく配置したり、快適に楽しく歩ける歩行者ルートを整備したりすることで、既存市街地へ移動しやすくするとともに、斜面市街地など長崎らしい眺望を確保します。※このイラストはイメージであり、実際の建物・施設などは異なります。

●問い合わせ●  
 まちづくり推進室  
 ☎ 829-1271